

千貫岩駐車場～三笠台～大かんの台～風神山～千仏不動尊～

千仏鍾乳洞～堂金山～不動山～不動坂～風神山～千貫岩駐車場

千貫岩駐車場からの 地の果て

2021年2月27日

今日は以前から気になっていたルートがあったので、思い切って歩いてみた。それは不動坂下の分岐から千仏鍾乳洞へ至る道である。大かんの台から堂金山にかけての台地は、急な崖が続いていて、この先にはもう行くことが出来ないという意味からか？この一帯は「地の果て」と呼ばれている。そんな「地の果て」とはどんなところなのか？歩いてみることにした。



目指すは不動洞。長く続く急坂は落ち葉で滑りやすい。ロープを握り締めて下って行く。

<コース概要>

- 1、千貫岩駐車場 11時38分 ～ 2、三笠台 ～ 3、大かんの台 ～
- 4、ポールの立つピーク ～ 5、大かんの台 ～ 6、風神の祠 ～ 7、風神山～
- 8、不動坂下の分岐 ～ 9、千仏不動尊 ～ 10、千仏鍾乳洞 ～ 11、堂金山 ～
- 12、不動山 ～ 13、不動坂下の分岐 ～ 14、風神山 ～ 15、千貫岩駐車場 15時28分



1、千貫岩駐車場 11時38分 スタート

スタート時間は今日も遅く、お昼前の出発となった。まずは三笠台に挑戦だ！



今日は寒い！



東屋横の階段から 11時39分

今日の目標は「地の果て」と呼ばれているこの境界の山々を巡る山歩きだ！初めてのルートもありちょっと不安。



標識の矢印に沿って



駐車場からの階段を上ると・・・ 11時41分

まず広い農道に出る、その農道から真っすぐ上る道と右斜めに分かれる道がある。先ずここで迷うが、山頂までの最短ルートは真っすぐである。右の道(青矢印)は下山に使うことになる。真っすぐ登って行くとまた道が分かれるがどちらでもOK。どちらにしても山頂にはすぐ登頂できる。



なだらかな登山道。最初はゆっくり歩こう！



山頂碑が見えてきた 11時45分

思ったより寒くて、薄手のダウンを着込んだ。



2、三笠台 11時45分 433m

駐車場からたった5分で登頂。上った気がしないが、これも山頂！



由緒ある山名

昭和27年7月に三笠宮殿下が登られて、ここから平尾台を眺めたそうだ！よって、三笠台。



三笠台を下山 11時47分

サクッと登ってサクッと下山。今上ってきた道とほぼ反対側の周防台方面に伸びた道を下る。道は徐々に右カーブ。今度は天狗岩方面に向いて下って行く。この道の方が、上りよりなだらかだが、距離は長い。それにしても、風が強く冷たい。時折突風も吹いて帽子が飛ばされそう。



三笠台の下への道へ出て右へ 11時49分



駐車場まで一直線 11時50分



スタート地点の分岐(11時41分)へ到着。三笠台の所要時間は13分だった 11時54分



農道に出た。千貫岩駐車場を右に見て農道を進む。 11時54分



農道を進んで行くと・・・ 11時55分



分岐？でも直進！右側は畑？ 11時56分



菜の花？ 11時58分 黄色が目立つ



道は右カーブして上って行く 11時59分



正面が大かんの台か？ 右へ 12時01分



また分岐。山頂は左方面 12時02分 左へ



とにかく上って行く 12時03分




山頂碑があるはずだが・・・ 12時05分

	<p>3、大かんの台 12時06分 432m</p> <p>やっと見つけた！上っている最中は山頂碑が見えなので目標が定まらない。</p> 
---	---



振り返ると、スタート地点の千貫岩駐車場(赤矢印)が見えている。稜線上を辿ると、次のピークらしき所に山頂碑のようなもの(青矢印)が立っている。行ってみよう！ 12時06分

<p>4、ポールの立つピーク 12時09分</p>  <p>山頂碑ではなく、何かの標識のポールだけが残っているようだった。</p>	 <p>ポール地点からラクダ山～七つ森の稜線を望む。あの稜線も歩いてみたい。</p>
--	--



三笠台遠望 先ほど歩いた三笠台。千貫岩駐車場(青矢印)から上り、山頂(緑矢印)を踏み、裏側(赤矢印)まで下ったことになる。そして麓の道を辿って千貫岩駐車場(青矢印)に戻った。さっき歩いているときはよくわからなかったのが、歩いた道をしっかり確認出来て納得。



5、ポールの立つピークから大かんの台に戻り、風神山を目指す！ **12時16分** 先は長い！ 今日歩くのは、名付けて「地の果てルート」。これから先、写真中央の森の中へと下って行くことになるが、さあこれからどうなる？ 森へ下るルートは初めてで、ちょっとワクワクしている。



地の果ての台地から右手を見る 12時19分



行橋市方面の田園と遠くの市街地



羊たちと戯れながら台地を進む 12時20分 いい眺めだ！



6、風神の祠 12時21分

石灰岩の上に祠が祀ってある。

祠の台座には右から「明治卅二年五月廿五日三山中」と刻まれている。この「地の果て」の崖の上は常に強風が吹き荒れる。

明治32年、その風を鎮めるためにこの祠が建立されたそうだ。

手を合わせて先へ進む。



7、風神山 12時23分 418m

風神の祠から約2分で風神山の山頂に到着。広すぎて山頂のような気がしない。



天狗岩が見える



風神山で小休憩後、出発！ 12時32分 これより、急坂を下り不動坂下の分岐(赤矢印)へ。



もうすぐ鞍部の分岐地点 12時42分



8、不動坂下の分岐 12時43分 右へ



この分岐から不動坂を上れば不動山だが・・



更に右に下り、地の果ての下へ 12時47分



天狗岩が正面に見えてきた 12時50分



森の中へ突入しグングン下る 12時52分



ジグザクの道を更に下る 12時57分



すると突然道は斜度を増し、ロープ場となる



ロープが終わると同時に階段 13時01分

左は上り、右は下り。どっち？ 13時01分
約3分、ズルズル滑る急坂を必死にロープを
掴み下ってくると、突然階段に飛び出した。
息せく中、たぶんこの辺りに千仏不動尊が
あるはずだが・・・と階段で休憩しながら考える。
実際に歩いたらわかるだろうと安易に
考えていたが、しっかり調べて来ればよかった
と後悔してももう遅い。「とにかく一度上
に行ってみよう」と左へ進んだ。



9、千仏不動尊 13時04分

階段を上ること約3分で千仏不動尊に無事到着。大きな岩室の中にお堂が建てられている。道はここで行き止まり。

岩室の上を見ると垂直な岩壁になっている。要するに、がけ下の岩室に不動明王が祀られていることになる。実はこの下に不動洞があり、確認するはずだったのだが・・・。



綺麗に掃除された内部に不動明王像



岩室の上を見上げると断崖



百度石



修行大師の石像や不動明王像



不動洞未確認で石柱まで下る 13時16分

千仏不動尊の下に総距離1270mと言われる不動洞(鍾乳洞)があると聞いていたが、なんと千仏不動尊にお参りして安堵したのか？不動洞を確認することをすっかり忘れていた。いつの間にかそのまま石段を下ってしまい、石柱のところまで来てしまった。不動洞に気が付かなかった(悲)。不覚☹



苔生すコンクリート道 13時18分



橋を渡る 13時20分 この橋、千仏橋？



この流れはどこから？と疑問に思う。
この川、千仏川？ 13時20分



九州自然歩道と合流 13時21分 左へ
ここを左に回り込むと道標がある。



九州自然歩道を辿れば行橋市大行事へ



千仏鍾乳洞まで500m 茶ヶ床まで2.3km



スイセンが咲いていて心和む



さあ、次は千仏鍾乳洞だ！



分岐のすぐ近くに小屋が・・・



覗くとお地蔵さん和他2体が祀られていた



歩を進めるにつれて、左上に断崖絶壁がチラリと顔を出している。あの崖が千仏ロック？



車両進入禁止の丸太の杭、倒木ならぬ倒竹を乗り越えて荒れた道を進む



朽ちかけた木の橋を渡る 13時29分 一か所踏み抜いた所があった(危険)
千仏鍾乳洞まであと200m



九州自然歩道の標識 13時30分



前方に建物が見えてきた 13時33分



階段の途中に男子トイレ 13時35分



階段を上るとそこは・・・ 13時36分



10、千仏鍾乳洞 13時36分 券売所営業中！ 入洞料金は大人800円。
この冬の季節だが、お客さんが入洞していた。我々は入洞をパスして、せんぶつ茶屋へ。



平尾台名物カルスト饅頭 一個100円



サツマイモが入っていてふっくら美味しい



カルスト饅頭を食べて出発 13時46分



階段を上り駐車場へ 13時53分



この広い駐車場にはトイレはありません



駐車場から千仏鍾乳洞まで220m



トイレは千仏鍾乳洞の券売所横です



駐車場は千仏鍾乳洞の利用者専用です！



車道をくねくねと上って... 13時58分



駐車場の他にも駐車場 13時59分



千仏鍾乳洞の入口を通過 13時03分



入口を出て振り返るとこんな感じ



次に目指す堂金山はこちらから 14時04分



入口を出て約30m歩いた所から左へ入る



石灰岩群に突入し平尾台を満喫 14時05分 ムーミンが背を向けたような岩(赤矢印)



踏み後を辿りながら岩の間をすり抜ける



徐々に山頂に近づいて行く 14時09分



振り返れば野焼き後の貝殻山が一層ゴツゴツとした様相を見せている 14時09分



11、堂金山 14時13分 404m

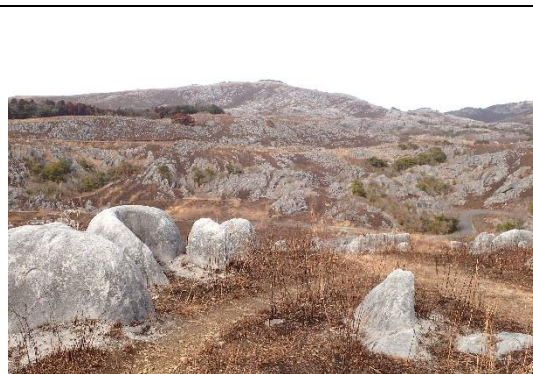
この堂金山の崖下辺りが千仏鍾乳洞になるのだろう。電線も下に降りている。



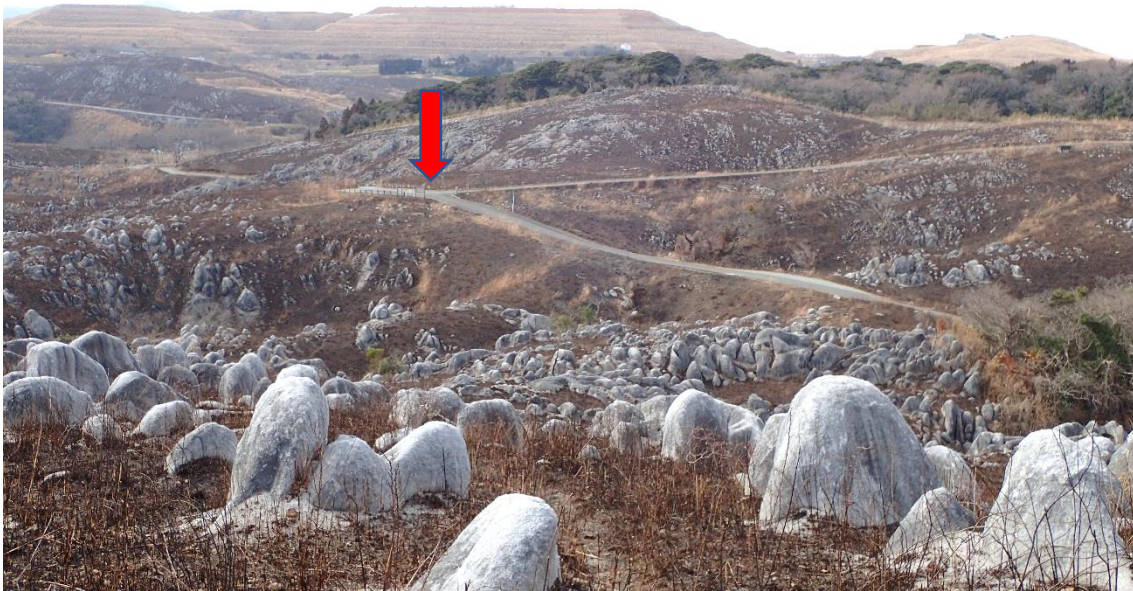
山頂碑を修復



次は不動山を目指す！地の果て巡りは続く



右を見ると下の道路に続く分け道が・・・



見晴台(赤矢印)もよく見えている 14時15分 雄大な眺めを目に焼き付ける



平坦な稜線歩きは遠足気分 14時17分



もうそろそろ山頂かな 14時26分



12、不動山 14時26分 404m
堂金山と同じ標高だった。この下には不動洞
や千仏ロックの崖がある。



タイム



重い腰を上げて山頂出発 14時52分



このすぐ先が不動坂だ 14時53分



いよいよ不動坂を下る 14時53分 正面はさっき下った風神山の斜面



急斜面を慎重に下る 14時54分



13、不動坂下の分岐 14時56分

往路はこの分岐から不動洞方面(青矢印)へ下った。これで地の果ての上下を一周したことに。



風神山への急坂 14時57分 見上げると山が覆いかぶさってくる。見ない方がよかった。



一気に上り切ったらヘトヘト 15時03分



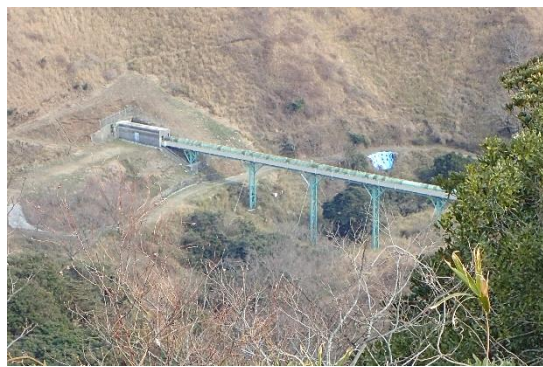
14、風神山 15時04分 本日2度目



風神山山頂からのパノラマ
大平山～貫山～周防台～桶ヶ辻の稜線



桶ヶ辻からの稜線の先に天狗岩があるが、
その下に平苧ベルトコンベアが見えている



平苧ベルトコンベヤー

セメントの主原料である石灰石を、平尾台から苧田の工場まで直接ベルトコンベアで運んでいる。その距離なんと12km。

平尾台と苧田町の名前に因んで、平苧ベルトコンベアと名付けられたそう。

石灰石専用のトンネルを掘ったのには、驚くばかりである。

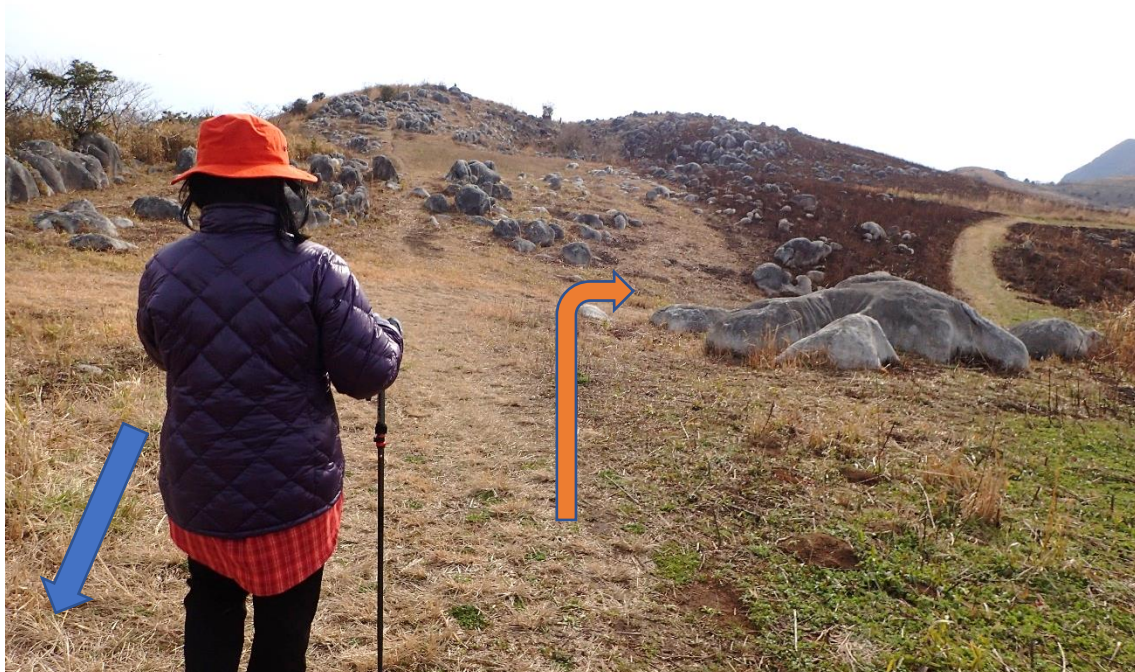


風神の祠 15時08分

大きな石灰岩を回り込むと風神の祠が見えてきた。石灰岩剥き出しの稜線は続く。



再度参拝



大かんの台が迫ってきたが、山頂はパス。 15時12分 少々ルートを考えて・・・右に下る。駐車場への帰り道は、往路で歩いた広い農道ではなく、大かんの台の先のポールのあるピークから、直接農道へ下るルートを探しながら歩くことにした。

 <p>大かんの台手前から稜線を右に下り、往路歩いた道(12時01分地点)に入る</p>	 <p>分岐を右へ 15時18分 往路はここを左に曲がったが、今度は右へ</p>
 <p>ポール立つのピークから下ってきた道に出る。ここを右に進む。 15時19分</p>	 <p>道はS字にカーブし畑の方へ下る。この道を辿ると往路で歩いた農道に行きつく。</p>
 <p>畑の横を通過 15時20分</p>	 <p>鉄製の檻？ イノシシの罠だろうか？</p>

 <p>畑を通り過ぎると・・・ 15時22分 今日最初に登った三笠山が近づいてくる</p>	 <p>往路で気になった分岐(11時56分の地点)に出た 15時23分 左へ</p>
 <p>あとは真っすぐ駐車場まで歩くだけ</p>	 <p>東屋横の階段を下る途中で・・・ 15、千貫岩駐車場 15時28分 ゴール</p>
 <p>ホトケノザを見つけた</p>	

本日の「地の果て巡り」はこれで終了。いつもの平尾台とは違った印象の山歩きだった。
不動洞と千仏ロックを見逃したのは痛恨の極み。また次の機会に再挑戦しよう。
所要時間は3時間50分、スマホの歩数計は13893歩だった。 お疲れ様でした。